



# おくさわ

令和7年度 重点教育目標 「考えるこども」の育成



なご 和みの学び舎  
奥沢中学校  
奥沢小学校  
東玉川小学校

## 子どもたちの、「いいな」

副校長 松田 朋

令和8年度がスタートして1か月が経ちました。子どもたちがそれぞれ、「なりたい自分」を目指し、目標をもって進学、進級してきたことが、表情や挨拶、学習や生活の様子からとても伝わってきます。

さて、昨年度末、学校運営委員会の中で、「子どもたちが地域の中で、どんな関わりをしているか」ということが話題になり、委員の方がアンケートを行いました。アンケートの内容は、「子どもたちと関わって、いいなと思った出来事」でした。アンケートの回答には、「挨拶を元気にしてくれた」「友達と待ち合わせをして、楽しそうに遊んでいた」「主事さんとさよならの挨拶をし、じゃんけんポンをしていた」「オタマジャクシをつかまえて、そのオタマジャクシについて説明してくれた」「出張に行く先生のところに集まってハイタッチをしたり、見送りをしたりしていた」などがありました。

地域の方が、上に挙げた回答のような何気ない出来事を、「いいな」「うれしかったな」「すてきだな」と思ってください、それを書いてくださっていることを心から嬉しく思いました。

私にとって子どもたちと関わって、いいなと思った出来事は何だろうと考えました。この仕事に就き、たくさん子どもたちと関わってきました。逆に「いいな」と思わないことなんてあったのでしょうか。私も教員なので、指導したり支援したりする中で、その時その時に思うこと、感じることはありました。しかし、それらの出来事が「いいな」と思わない出来事では決してありませんでした。泣いてばかりいた子が、いつの間にか泣かなくなった。スプーンばかりで給食を食べていた子が、箸を使って食べた。いつも文句ばかり言っていた子が、集中して学習に取り組んだ。怖がって鉄棒をやらうとしなかった子がぶら下がった。野菜が嫌いだったけど、育てた野菜を食べて、ちょっと好きになった。意見がまとまらなかったときに、いつもは意見を言わないけれど、折衷案を出してみんなに認めてもらった。字の書き方が乱れていたけど、時々丁寧に書くことができるようになった。一生懸命ウサギに話しかけてかわいがっていた。どれも「いいな」です。

奥沢小学校には425人の子どもたちがいて、一人一人がたくさんのことを考えて、毎日を生懸命生きています。もっとも子どもたちと関わっていけば、もっとも子どもたちの「いいな」が見つかると思っています。その見つけた「いいな」は、ぜひ子どもたちに直接伝えていきたいと思いました。

5月の人格の完成を目指してのテーマは「思いやり」です。つい、いろいろ言いたくなる気持ちを少し抑えて、まずは大人である自分たちから「いいな」を見つけて、伝えていける奥沢小学校でありたいと思います。

### 「和みの学び舎ミニマム」について

生活指導部

- ◎あいさつや返事・ていねいな言葉づかいをする
- 相手のことを考えて行動する
- 安全な行動をする
- 身だしなみに気を付ける
- 掃除をしっかりとる
- 時間やチャイムを守る

奥沢小・東玉川小・奥沢中の3校で、子どもたちに身に付けさせたい目標として掲げているのが「和みの学び舎ミニマム」です。今年度の重点は、「きもちをこめてあいさつや返事、ていねいな言葉でお話しよう」になりました。学校のよさは、たくさんのお会いがあるところです。挨拶は、出会いの始まりです。朝、大きく息を吸って、「おはよう。」と気持ちを込めて言えると、楽しい一日が始まります。気持ちのよい挨拶ができるよう励ましてあげてください。また、毎月15日前後は和みの学び舎あいさつDAYです。3校揃いの青いのぼりが目印です。地域の方もご協力くださり、登校する児童に挨拶をしていただいています。隔月で、中学生も、校門に立って元気よく挨拶をしているので、保護者の皆様もぜひご協力ください。

#### 5月の生活目標

「元気よくあいさつをしよう」

#### 5月の保健目標

「自分のからだをよく知ろう」

「病気を早く治そう」

#### 和みの学び舎ミニマム重点目標

「あいさつや返事・ていねいな言葉づかいをすすんです」

#### 「人格の完成をめざして」

5月のテーマは「思いやり」です。

相手の気持ちを大切にしながら行動していますか？

周囲に思いやりのある人がいてくれることは有り難いことです。また、思いやりのある人がいる場合は、幸福な雰囲気にもなります。

「まずは自分から」思いやりをもって行動してみましょう。

～友達が喜んでいると、自分もうれしくなるよ～

